

特ラ機構レポート

No.184

令和4年1月1日

新年のご挨拶	2
令和3年度 第3回理事会 報告	3
運用連絡と調整の総件数	9
新規加入会員紹介コーナー	12
マラソン・駅伝・イベントの情報	13
地上デジタル放送の高度化（4K・8K）に向けた 電波発射について ..	14
第20回、21回 特ラ機構 技術賞 受賞者コメント	15
Inter BEE 2021 報告	21
東京オリ・パラ競技大会での ラジオマイクの運用結果	23
ちょっとブレイク	26
第22回 特ラ機構 技術賞募集の案内	27
事務局員年頭挨拶	28
事務局 便り	30

新春のご挨拶

(一社) 特定ラジオマイク運用調整機構 理事長 渡邊 邦男

明けましておめでとうございます。

皆さまお変わりなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

我が国では収束の気配すら感じられる新型コロナウイルスですが、新たな変異株の出現で諸外国との交流も儘ならぬ状況になっています。コロナの終息はおろか収束もまだまだ先になりそうだななどと杞憂するばかりの 2021 年も終わり、新しい年がやってまいりました。

2022 年の干支は「壬寅(みずのえとら)」です。陰陽五行では「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊(はら)む」、「寅」は「蟻に通じ、春の草木が生ずる」という意味があるそうです。つまり、厳しい冬ほど春の芽吹きのための養分を蓄え、力強く生まれ成長する礎になることを表しています。感染症に耐え、挑み、克服する時が来るのを待ちましょう。

特ラ機構では「コロナ禍の影響による会員の皆さまへの支援策」を一昨年から二期に渡り実施しております。次年度も引き続き、状況を見定めながら検討してまいります。また、TV ホワイトスペース帯および 1.2GHz 帯の有効利用に関わる各方面への協力体制を維持し、会員の皆さまへの情報提供に努めてまいります。

2025 年には大阪・関西万博が開催されます。昨年の東京オリ・パラの経験を活かし、文化・芸術・スポーツなど特定ラジオマイクを利用するすべてのイベントにおいて、感染症対策で大きく変化した環境を一つ一つ整理し、良い方向に転じていかなければなりません。

特ラ機構では「運用体制の拡充」を旗印に、会員の皆さまからのご期待に沿い、特定ラジオマイクを利用されているすべての皆さまからのご要望に応えるべく業務に邁進し、YouTube での配信などにも力を入れて運用の利便性を高めるとともに、公平で安全・安心な運用が継続できる体制作りに取り組んで参ります。また、チャンネルリスト等の諸問題解決に向けても、総務省のご指導のもと官民一体となって努力を続けていく所存です。

会員の皆さまの更なるご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

2022 年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和4年1月元旦



[理事会報告] 令和3年度 第3回理事会

1. 日 時 令和3年 12 月8日(水) 15 時～ 17 時
2. 出席者 (理事長・理事・監事総数 22 名)
 出席 [理事長] 渡邊邦男
 [理 事] 石橋 透, 小野良行, 小俣公洋, 北口紀雄, 小林 敬, 小間新五,
 鈴木久利, 瀬谷正夫, 西澤勝之, 右田研介, 吉田廣嗣
 [監 事] 伊藤 博, 國枝義久
 委任出席 [理 事] 池上行大, 岩井佳明, 上田好生, 金光浩昭, 永谷俊之, 則行正信,
 萩原桂吾, 本間俊哉

3. 令和3年度 第3回理事会

理事長開催挨拶

総会以来、半年ぶりに皆さんと顔を合わせたの会議を開催することができて嬉しく思います。

このところ国内の感染者数が激減し、大規模コンサートでの観客数上のせの実証事業など、収束の兆しが見えてきたのかと安心していただけ矢先、急遽オミクロン株の出現で外国人の入国禁止措置が実施されるなど、一喜一憂といった状況が続いています。

コロナ禍での対応は既に2年弱になりますが、一刻も早い収束を心から願っています。

上記の挨拶があり、資料の確認をおこない議題に入った。

4. 議 題

【報告事項】

(1) 運用連絡と調整の近況について (理事会資料：9～11 頁)

- a. 運用連絡数の推移 b. イベント報告 c. 干渉報告

(2) 各委員会報告

① 賛助委員会

今期、賛助委員会の開催はなかった。

② 技術委員会

令和3年 11 月 16 日(火) 小川技術委員長(ソニー)と甲田副委員長(テクニカルチーフ)が電話にて、今後の方向性について意見交換をおこなった。「運用時の送信出力(電界強度)を下げる事によるメリット」を将来的に広く普及させることについて協議した。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

令和3年 11 月 1 日(月) から「令和4年度第 22 回特ラ機構技術賞」の募集を開始した。同日発行の特ラ機構レポート 183 号にて募集開始の告知を掲載し、発送時に案内と応募用紙を同封した。また、特ラ機構のホームページにおいても同内容の案内を掲載した。

④ 編集委員会 特ラ機構レポート

第 88 回編集委員会は、令和 3 年 1 月 15 日(月) に当機構事務局にて開催した。出席者は 4 名。183 号を振り返って反省点等を確認した他、184 号への掲載記事の検討、記事作成分担をおこなった。特ラ機構レポート 183 号は、令和 3 年 10 月 29 日(金)に発送済。

184 号は 12 月下旬に発送予定となっている。内容は、新年号ということで事務局全員の新年挨拶文、理事会報告、新規加入会員紹介、オリパラ関連記事、InterBEE2021 報告記事、技術賞受賞者のコメントなどを掲載予定。

(3) 総務省関係、ARIB 関連の報告

① 総務省関連

本省移動通信課とは今期、特に無かった。

② 各総合通信局関連

令和 3 年 10 月 18 日(月)、渡邊理事長、石川統括チーフ、渡辺職員の計 3 名にて総務省関東総合通信局陸上第三課へ伺い、10 月から特定ラジオマイクの免許申請を担当されている鈴木上席電波検査官へご挨拶させて頂いた。その後、監視第二課へ伺い、前任の中村補佐へご挨拶の後、同局の電波監視施設を見学させて頂いた。

令和 3 年 11 月 8 日(月)、9 日(火)、総務省 関東総合通信局ならびに九州総合通信局を通じて、TVWS チャンネルリストの新規検討を申請した。同、新規件名は令和 3 年 11 月 29 日(月) システム登録を完了した。

令和 3 年 11 月 10 日(水)、総務省 近畿総合通信局 陸上第三課 阪本氏と面談した。

令和 3 年 12 月 2 日(木) 総務省 関東総合通信局ならびに中国総合通信局に TVWS チャンネルリストの新規検討申請をおこなった(同リストの登録は 12 月末)。

③ ARIB 関連

令和 3 年 11 月 9 日(火) ならびに 12 月 7 日(火)、ミリ波素材伝送タスクグループの Web 会議は甲田テクニカルチーフが業務多忙の為、欠席した。

(4) TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会

① 統合 DB 作業班

令和 3 年 11 月 1 日(月)、運用連絡システムの今年度下期改修に関する特ラ機構要望一覧を、事務局ならびにリンク情報システムに提案した。

② 幹事会

今期、幹事会は開催されなかった。

③ WS 協議会負担金の支払い状況

令和 3 年度の WS 協議会負担金(既存会員分の運用調整費)については、WS 協議会側と確認作業を完了し、合計 23,923,200 円となった。また、令和 3 年度第 2 四半期の WS 協議会負担金(新規分の登録費・運用調整費)については、合計 242,200 円となった。それぞれについて、12 月 6 日(月) に支払いを完了している。

（５）情報通信月間協議会報告

令和３年１１月１７日(水)、Web 会議にて第３回運営連絡会が開かれた。主な議題として、以下の４項目について報告や審議があり、すべてについて承認された。

- １、「2021 年度情報通信月間行事実施状況報告」
- ２、「2021 年度情報通信月間推進協議会決算（見込み）」
- ３、「2022 年度情報通信月間推進協議会行事実施計画（案）」
- ４、「2022 年度情報通信月間推進協議会予算（案）」

（６）令和３年度の再免許手続きの進捗状況

令和３年１０月２８日(木)、再免許対象会員（１６５会員）へ関係書類の発送をおこなった。必要書類の返送の締め切りは１１月末となっており、現在までのところ、９割以上の対象会員から返送されている。未着の対象会員については、個別に連絡をとって対応している。

（７）東京オリンピック・パラリンピック競技大会でのラジオマイクの運用結果についての報告（理事会資料：２３頁～２５頁）

理事会資料に則り、報告があった。

（８）地上４Ｋ・８Ｋデジタル放送の実験試験局運用について

各地域における、令和３年１１月と１２月の実験スケジュールを特ラ機構のホームページおよび Twitter にて告知をおこなった。

令和４年１月以降の実験についてもスケジュールが確定し次第告知していく。

また、令和３年１１月１０日(水)～１２日(金)、２３日(火)～２５日(木)、甲田テクニカルチーフが大阪実験試験局での電波発射に伴う、既存特定ラジオマイク施設への影響確認調査ならびに建物遮蔽損調査（７施設）に支援業務として携わった。

（９）短信、その他

① ホームページ更新

令和３年１１月２日(火)にホームページのレイアウト変更が完了した。トップページの改修、YouTube・Twitter アイコンの追加をおこなった。その他、各種お知らせやチャンネルリスト検索システム等の定期更新をおこなった。

② チャンネルリストの追加（令和３年１０月１日～１１月３０日）

聖書キリスト教会東京教会、TOHO シネマズ池袋、出島メッセ長崎、ノアスタジオ学芸大学店（６－７Ｆスタジオ）、アミューズヴィレッジ 計５施設が追加になった。

⇒ 以上の報告事項について、出席理事全員の承認があった。

5. 【審議事項】

(1) 会員の入退会 令和3年10月～11月分

【入 会】

関 東：株式会社アンドロメディアサウンド, 聖書キリスト教会（東京教会 6階大礼拝堂）,
日活株式会社（日活調布撮影所）, 株式会社ウィズ,
ヒューリック株式会社（浅草橋ヒューリックホール&カンファレンス）
九 州：株式会社アイティーブイ

【退 会】

関 東：エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社（原宿クエスト）,
アニヴェルセル株式会社（アニヴェルセル東京ベイ）

(2) 会員数

令和3年11月末現在 1,480 会員

(3) 無線局数

令和3年11月末現在 46,564 局

〈内 訳〉

① 470 ～ 714MHz 帯

ラジオマイク	34,992 局
イヤーマニター	2,511 局

② 1.2GHz 帯

ラジオマイク	9,061 局
合 計	46,564 局

(4) 後援名義使用許可依頼

「JPPA AWARDS 2022」後援名義使用許可依頼

一般社団法人日本ポストプロダクション協会より、「JPPA AWARDS 2022」への後援名義使用の承認依頼があり、慣例をもって承認した。

(5) コロナ禍における会員の現況

渡邊理事長より、「令和4年度コロナ禍における会員支援については、次回理事会の議題に上げるので、各位のご意見や支援のアイデアなどは、その際に拝聴し、話を詰めていきたい。」という話があり、今回はコロナ禍における会員の現況について、各理事から下記の通りに報告を受けた。

〈 コロナ禍における現状について 〉

- ・コロナ禍における規制によりダメなものはダメだが、舞台公演開催の要望は大きい。時期はわからないが、状況は必ず良くなると思っている。
- ・聞こえてくるのは仕事が激減したとの話ばかりである。最近少しずつ復活しているよう

な話題もあるので期待している。

- ・緊急事態宣言が明けた後からは徐々にイベントも増えてきている。通常の開場時間でコロナ対応（入場制限・記名等）をしていると、開演時間に間に合わないため、開場時間を早める等の対応をしている。
- ・舞台公演の開催はあるが、コロナ禍の規制で観客が半数なので、各セクションの担い手へのペイも減額になる。決まりがあるわけではないがそういう事情も出てくる。
- ・オリ・パラ期間中は東京の感染者が1日5千人を超えることもあったが、今は大きく数を減らした。武道館には1万人の観客が入り、これからという時にオミクロン株の発生で外国人は入国できなくなり、もう収束する事はないのではないかとさえ思ったりする。
- ・状況は厳しく音響会社は再来年から融通された資金を返していかなければならず、音響家（フリーランス）には何の援助もない。
- ・海外からの招聘講演や研究発表等の仕事は、軒並み zoom 等の会議ツールの利用で激減した。今まで、海外との Web 会議は時差があるので敬遠されていたが、水際対策で海外から人が入ってこないことから、今では主流になっている。

〈 消毒対応について 〉

- ・舞台公演は時間対応が難しい。消毒などの処置に時間がとられるため人数を増やして対応している。コロナ禍が収束しても消毒などの習慣は続くと思う。開演前も時間対応が難しいが、劇場の閉館時間が厳しく後処理もまた難しい。
- ・現場での消毒等の対応はどこまでやればいいのかの線引きがわからない。制作からも質問が出たりする。消毒等はスタッフを増員して実施しているが、周囲からのフォローは無い。「働き方改革」などもネックになっている。
- ・昨年、音事協（日本舞台音響事業協同組合）から販売されたマイク用の消毒スプレーはどのような動きをしているのか？
- ・昨年は多くの会場等で使用された。今後もこういった製品の需要はあると思う。
- ・舞台音響の国家技能検定試験でのことだが、実技試験の受験者は、感染症対策の一環で、マイクやケーブルを仕込む際には手袋をする、デジタル卓を操作するときには手袋を外すといった具合に、手袋のつけ外しと消毒が、限られた試験時間の負担になる。
- ・指先が反応する手袋を用意した会場もあったが、受験者の手が小さく、試験に支障が出たという話も聞いた。

〈 今後の展望について 〉

- ・コロナ禍が過ぎても元に戻る事はないのではと不安に思う。仕事は低調だが、ライブ配信の仕事は多くある。だが、仕事としては安価である。コロナ禍における良い方向性が見い出せればと思う。
- ・音響事業の業務区別は「サービス業その他のその他」で訴える力も弱い。「苦しい」と言う「そうでしょ」で終わってしまう。機構にはこの業界を強くアピールして欲しい。

- ・ 今後の機構については、コロナ禍で運用件数が少なくなっている今だからこそ、人材を育成する、運用連絡入力のセミナーなどをおこなう良いタイミングなのではないかと思う。
- ・ コロナ禍が大きく影響している事は理事会資料「運用連絡と調整の総件数」のグラフを見れば分かる。コロナ禍の先が読めない状況では、良い方向だけではなく、悪い方向へ向かう事も想定して、会員支援を考えていくのが良いのではないか。

以上の様に令和2年度3年度に続いて会員支援を考えたらどうかとのご示唆があり、次回理事会で審議する。

※理事監事の皆さんからは掲載した以外の話もたくさんありましたが、一部のみ掲載させて頂きました

⇒ 以上の審議事項について、出席理事全員の承認があった。

次回理事会（予定）

日 時 ： 令和4年2月2日(水) 15：00～17：00

場 所 ： 中野サンプラザ 6階 フラワールーム



運用連絡と調整の総件数

2021年10月～11月

理事会資料 R3-3-01a

1. 最新の運用連絡・調整の総件数

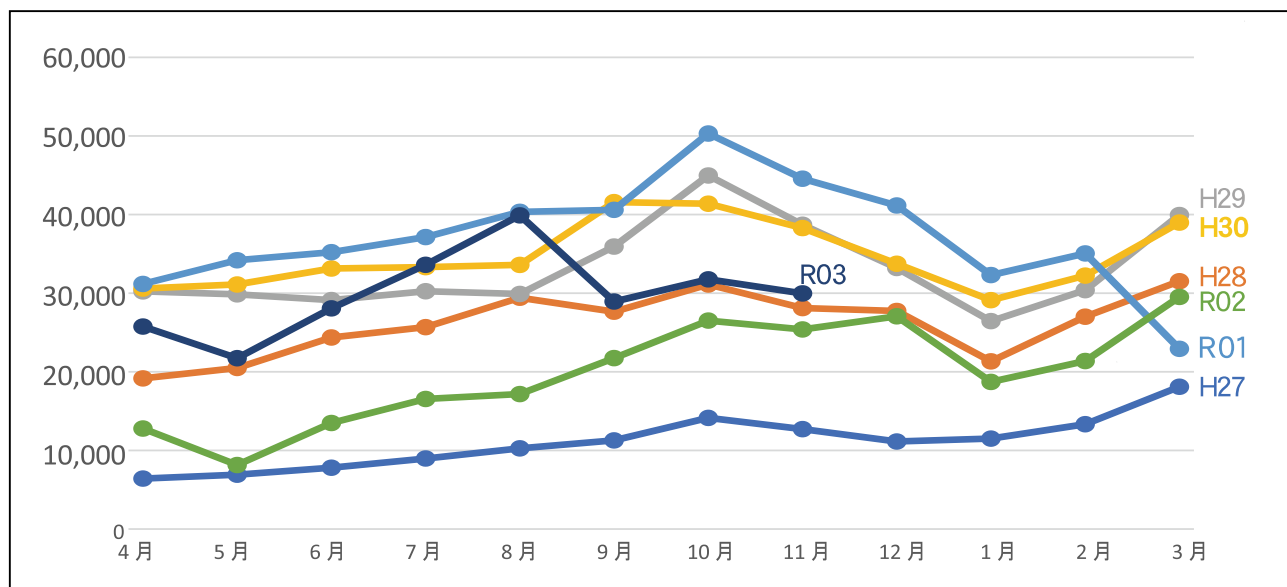
各年度 月別運用連絡・調整総件数表

※ 2017年4月から2019年11月までのデータは2019年12月2日時点で再集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,228	29,853	29,120	30,245	29,898	35,928	44,971	38,701	33,207	26,443	30,385	39,939	398,918	33,243
30年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	26,511	25,387	27,059	18,711	21,369	29,520	238,407	19,867
R3年度	25,753	21,727	28,067	33,609	39,896	28,938	31,758	29,970						

前年との差 +12,973 +13,588 +14,582 +17,066 +22,732 +7,199 +5,247 +4,583

各年度月別運用連絡・調整の総件数の推移



(1) 2ヶ月間の総件数を比較

	2021年8月・9月	2021年10月・11月
前年	38,903	51,898
当年	68,834	61,728
増減	29,931	9,830

(2) 1ヶ月間の受信数を比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
前年	5,875	3,996	7,038	8,769	8,766	10,791	12,634	12,475
当年	12,118	10,396	12,929	14,358	12,593	11,560	14,734	14,594
増減	6,243	6,400	5,891	5,589	3,827	769	2,100	2,119

2. 前年（2020年10月～11月）と当期（2021年10月～11月） 運用連絡（受信）・調整（送信）件数を比較する

（1）2ヶ月間の運用連絡・調整の総件数

緊急事態宣言の解除で幕を開けた2021年10月は、菅内閣総辞職、岸田新内閣発足、4年ぶりの衆院選と、政権の動向に関心が集まった。10月末から11月にかけては新型コロナの国内感染者数が減少し、入国制限の緩和など明るい兆しが見えてきたが、新たな「オミクロン株」の流行で外国人の新規入国停止という事態に至っている。

そのような状況下での、10月・11月2ヵ月間の総件数は、前年同期に比して**9,830**件の増となった。

（2）1ヶ月単位での運用連絡受信数と調整送信数を含めた総件数の推移から、令和3年度10月～11月を振り返る

10月の強い上昇を期待したが、前年と比べ10月が5,247件増の31,758件、11月は4,583件増の29,970件という、若干の上昇に留まった。

受信数では、10月が2,100件増の14,734件、11月2,119件増の14,594件となった。

総件数のグラフを見ると、10月の件数が過去の昇降パターンと比べて物足りないが、コロナ禍の前年（R2年）の件数を上回っている。また、11月25日から12月7日までの運用連絡受信数を見ると、1日平均515件に達しており、これは10月と11月の1日の平均値483件を約7%上回ることを示し、12月の運用連絡受信数が約15,900件になることが予測できる。

今後のワクチン接種率や接種証明などの活用も期待しつつ、一日も早いコロナの終息を願うばかりだ。

（3）受信・送信2ヶ月間の比較（受信数に対する送信数の比率について）

(3) 受信・送信 2ヶ月間の比較					
前々年2019年度(10月～11月)		前年2020年度(10月～11月)		当期2021年度(10月～11月)	
受信数	37,000	受信数	25,109	受信数	29,328
送信数	57,867	送信数	26,789	送信数	32,400
計	94,867	計	51,898	計	61,728
比率(送信/受信)	1.56	比率(送信/受信)	1.07	比率(送信/受信)	1.11

運用連絡【受信数】を見ると、前年の25,109に対し、当期は29,328で1.17倍。

【連絡数に対する調整数の比率】でも、前年の1.07倍から1.11倍に上がっている。

3. 各年度の月別運用連絡・調整総件数の比較から、コロナ禍での影響を見る

各年度月別運用連絡・調整総件数

※2017年度以降のデータは2019.12.02時点で再集計。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,228	29,853	29,120	30,245	29,898	35,928	44,971	38,701	33,207	26,443	30,385	39,939	398,918	33,243
30年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	28,511	25,387	27,059	18,711	21,369	29,520	238,407	19,867
前年との差	-18,392	-26,045	-21,728	-20,593	-23,184	-18,859	-23,795	-19,174	-14,093	-13,591	-13,685	+6,599	-206,540	-17,212

4. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント

(令和3年10月～11月)

イベント名	日 程	施 設	運用 社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
					TVWS	711-714	1.2GHz	
Beauty World Japan WEST	10/17 - 10/20	インテックス大阪	4	5	14		16	30
SDGs AICHI EXPO 2021 ほか	10/17 - 10/23	AICHI SKY EXPO	4	5	32		6	38
Inter BEE 2021/ ベストヒット歌謡祭	11/15 - 11/19	幕張メッセ	7	6	18		46	64
産業交流展ほか	※ 11/23 - 11/26	東京ビッグサイト	6	7	16		30	46

※周波数配分を実施したイベント

今期は、特定ラジオマイクの運用が活発さを取り戻しつつあるように見受けられた。中でも運用会員数が多いイベントをとり上げて報告する。

InterBEE 期間中には、日本テレビ様のベストヒット歌謡祭の本番とも重なり、1.2GHz の運用局数が一時 46 局となったが、実際に簡易的な電波測定をして安全確認をおこない、電波がホール外へ漏れることは少ないということを確認した。

また、産業交流展の期間中においては、1.2GHz での運用が規定の 5 社 20 波を超えたため、事務局による周波数配分をおこなった。

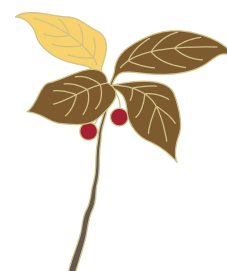
5. 干渉報告

- ① 令和3年11月9日(火) 東京都千代田区丸の内 2-4-1 丸ビルホール&コンファレンススクエアご担当 佐藤氏より連絡があり、令和3年11月8日(月) 13:30 よりメディア向けイベントで使用していた TV35ch、603.050MHz ～ 606.200MHz 8波で干渉を受けたとの報告があった。

状況を伺うと、同時刻制作サイドが運用する 300MHz 帯トランシーバーからの影響ではないかと考える。高出力な 1W や 5W などの機器もあり、ラジオマイク用受信アンテナ付近でのトランシーバー運用にはご注意頂きたい。

- ② 令和3年11月12日(金) 渋谷スクランブルスクエアスクランブルホール技術管理シアターワークショップ 鈴木氏より連絡があり、「令和3年11月11日(木) 19:30 頃、1251.850MHz で1分程混信が発生した」との事。

「同日は運用調整連絡が2通あり、本番時間が重なる方には事前に連絡をいれたが、同ホールは開業から2年経過したが混信は今回が初めてであった。」との報告だった。



新規加入会員紹介コーナー

令和3年 10 月～ 11 月

関 東

● 株式会社アンドロメディアサウンド

会員番号 030-1082

代表取締役 照屋 哲

入会：令和3年 10 月4日

移動

シユア…8 局

〒 272-0145 千葉県市川市島尻2- 30 - 1003

運用担当者 照屋 哲

TEL 090-1990-9710

E メール teruyat@andromediasound.com

● 聖書キリスト教会（東京教会 6階大礼拝堂）

会員番号 030-1083

代表役員 尾山 令仁

入会：令和3年 10 月 28 日

固定

ゼンハイザー…8局

〒 176-0012 東京都練馬区豊玉北1- 12 -3

運用担当者 長谷川 千洋

TEL 090-5761-7656

E メール rawdrop.c18@gmail.com

● 日活株式会社（日活調布撮影所）

会員番号 030-1084

代表取締役 佐藤 直樹

入会：令和3年 11 月 11 日

固定・移動

WISYCOM…7局

〒 182-0023 東京都調布市染地2-8- 12

運用担当者 高木 陽平

TEL 042-487-1792

E メール takagi_y@nikkatsu.co.jp

● 株式会社ウィズ

会員番号 030-1085

代表取締役 松浦 浩太郎

入会：令和3年 11 月 24 日

移動

シユア…12 局

〒 176-0001 東京都練馬区練馬3- 15 -6 フラット R101

運用担当者 松浦 浩太郎

TEL 090-4619-1745

E メール matsuura@with-sd.com

【ひとこと】2021 年、開業いたしました。業務をさらに充実させるため、運用を開始することにしました。開業間もないですが、実績を少しずつ積み重ねています。よろしくお願いします。

● ヒューリック株式会社（浅草橋ヒューリックホール＆カンファレンス）

会員番号 030-1086

代表取締役 吉留 学

入会：令和3年 11 月 30 日

固定

シユア…6局

〒 111-0053 東京都台東区浅草橋1- 22 - 16

運用担当者 小糸 祐気

TEL 03-5822-5971

E メール y.koito@magnet-s.jp

九 州

● 株式会社アイティーブイ

会員番号 100-0106

代表取締役 井口 勉

入会：令和3年 10 月8日

移動

シユア…4局

〒 812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3- 27 - 10

運用担当者 中村 豊

TEL 092-432-2788

E メール nakamura@it-v.jp

マラソン、駅伝・イベントの情報

昨年は何かあれば、コロナに巻き込まれイベントが中止になる事も多かったですが、今年こそ、コロナを吹き飛ばして、イベントが通常通りにおこなわれる事を願います。

特定ラジオマイクを使用する際には、**早めの運用連絡（日・祭日を除く2日前までが原則ですが、大規模な展示会等ではさらに運用調整が複雑になるため余裕をもって）**をお願いいたします。

マラソン、駅伝は（公財）日本陸上競技連盟の『2021 年度主要競技会日程』から、イベントは各会場のイベントカレンダー等から主なものを拾ってみました。令和4年1月中旬～3月中旬までのものです。

マラソン・駅伝

日 程	競技会名	場 所
1 月 16 日	第 40 回 都道府県対抗女子駅伝	京 都（京都）
1 月 23 日	第 27 回 都道府県対抗男子駅伝	広 島（広島）
1 月 30 日	第 41 回 大阪国際女子マラソン	大 阪（大阪）
2 月 27 日	第 10 回大阪マラソン 第 77 回 びわ湖毎日マラソン統合大会	大 阪（大阪）
3 月 6 日	東京マラソン 2021（延期分の開催）	東 京（東京）
3 月 13 日	名古屋ウィメンズマラソン 2022	愛 知（名古屋）

イベント

日 程	展示会名	会 場
1 月 19 日～ 21 日	第 14 回 オートモーティブワールド	東京ビッグサイト
1 月 14 日～ 16 日	TOKYO AUTO SALON 2022	幕張メッセ
1 月 19 日～ 21 日	第 6 回 Japan IT Week 関西	インテックス大阪
1 月 7 日～ 9 日 1 月 21 日～ 23 日	冬スポ !! WINTER SPORTS FESTA Season21	幕張メッセ
2 月 8 日～ 10 日	Care Show Japan 2022	東京ビッグサイト

♪ ルールを守って クリアな運用 ♪



地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた電波発射について

一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)では、東京・名古屋・三重・大阪・福岡地区において地上デジタル放送の高度化に向けた実験試験局による電波発射を実施しています。

2022年1月～3月の電波発射スケジュールは下記のとおりです。

< 2022年1月～3月のスケジュール >

地 区	電波発射スケジュール[*]	TV チャンネル	備 考
東 京	2 月 1 日 ～ 3 月 18 日	UHF28ch	
名古屋(東山)	1 月 11 日 ～ 1 月 28 日 2 月 15 日 ～ 3 月 11 日	UHF35ch	
名古屋(鍋田)	1 月 11 日 ～ 1 月 28 日 2 月 15 日 ～ 3 月 11 日	UHF35ch	
三 重(津)	2 月 14 日 ～ 3 月 31 日(予定・調整中)	UHF25ch	
三 重(伊勢)	2 月 14 日 ～ 3 月 31 日(予定・調整中)	UHF25/35ch	
大 阪	1 月 11 日 ～ 1 月 28 日	UHF19ch	9/27 から継続で電波発射中
福 岡	1 月 11 日 ～ 3 月 31 日	UHF51ch	5/28 から継続で電波発射中

【*注1】電波発射時間は、土日祝を除く平日の10時～18時となります。

【*注2】東京地区のUHF28chは、テレビホワイトスペースの割当がないため、運用調整は発生いたしません。

【*注3】2022/1/10までの年始期間はすべての実験試験局で電波発射予定はありません。

この電波発射に伴い、日時、場所によって特定ラジオマイクの運用調整が必要となる場合がありますので、その際はご協力をよろしくお願いします。ご不明な点がございましたら、当機構までお問い合わせ下さい。

また、放送サービス高度化推進協会(A-PAB)の「地デジ高度化実験受信対策センター」ホームページでは、電波発射スケジュールや特定ラジオマイクとの運用調整について随時情報を更新しておりますので、ご確認いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

<https://www.tvkoudoka.jp/>

併せて、当機構ホームページでも「地デジ4K・8K実験試験局情報」で特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしていますのでご活用ください。

<https://www.radiomic.org/>

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

特定ラジオマイク運用調整機構 事務局

第20回, 21回 特ラ機構 技術賞 受賞者コメント

前号に引き続き、第20回、21回特ラ機構技術賞を受賞された方々よりコメントを頂きましたのでご紹介します。

第21回 特ラ機構技術賞

■一般部門 八幡賞 金賞

「しまね伝統芸能祭 クロージング公演」

公益財団法人しまね文化振興財団 島根県民会館

この度は、大変名誉ある「八幡賞」を賜り、誠にありがとうございます。

島根県民会館では以前、20年以上に渡り県民参加によるミュージカル公演を行っていました。当時も特ラ機構の技術賞に応募させていただいたことがあります。事業の方向も変化し、今回「しまね伝統芸能祭クロージング公演」で初めて「八幡賞」をいただきました。

島根県民会館の近年の事業としては、障がいのある方もない方も参加できるダンス事業の組み立てや、地域に残る伝統芸能にも力を入れて取り組んでいます。

島根県には各地素晴らしい伝統芸能がありますが、それらを支える技術者が減少しております。伝統の継承や技術の伝承を目指すため、県内の公立文化施設に出向いて公演を行い、その地域におられる技術者と協働し舞台を創り上げたり、独自に技術研修会を開催して島根県全体の技能向上にも取り組んでいます。

地方の様子はなかなか知られていないのが現状かと思えます。魅力的な舞台芸術が存在することを技術面からも発信することで、舞台技術者の増加にも繋がることを願っています。

これからも、地元のアーティストや技術者がより一層活躍できるよう作品と向き合って参りたいと思います。

この度は本当にありがとうございました。

島根県民会館 三島 広平



島根県民会館 三島 広平さん（右）



八幡賞のクリスタルトロフィー

第 20 回 特ラ機構技術賞

■一般部門 奨励賞

「“ササシマ MUSIC BASE #22” 4KVR + Ambisonics Mixing」

第 21 回 特ラ機構技術賞

■一般部門 奨励賞

「『826aska VR LIVE』 2 視点 8KVR 映像とバイノーラルプロセッサーを
活用した 22.2ch ミキシングによるイマーシブコンテンツの制作」

中京テレビ放送株式会社 前田 英人

この度は、このような賞をいただけて大変光栄に感じております。バイノーラルを活用した立体音響コンテンツを応募させていただきました。挑戦したいけどハードルが高いと感じてきたサラウンド制作に対して、バイノーラルを活用してヘッドフォン内でのミキシング環境を構築したり、視聴者へサラウンド作品を届けるためにバイノーラルで配信したりと、限られた予算や制作環境の下でサラウンド制作を実現させるための工夫をおこなってきました。

また、360 度 VR 映像と組み合わせることもおこないました。映像の没入度を高めるための立体音響の役割や、音空間の感じ方を引き上げるための映像の効果を勉強しながら取り組みました。

今、コロナ禍で配信の需要が大きく増え、主催者側からはプラスαの価値がある配信ができないかと技術革新が求められているように感じます。また、視聴者からも新しい体験ができるコンテンツが求められていると思います。この流れの

中で、音の面からアプローチできることは多いと実感しております。ただ、一方で、周りの理解を得ながら取り組む難しさを感じることもあり、その中で今回賞をいただけたことが大変励みになりました。引き続き、精進して参りたいと思います。



中京テレビ放送株式会社 前田 英人さん

中京テレビ放送株式会社 前田 英人



第 21 回 特ラ機構技術賞 ■一般部門 奨励賞

「電磁シールドフィルム施工工事による TVWS チャンネルリスト改善措置」

株式会社サイバーエージェント

当初、弊社所有のスタジオにおいて、ワイヤレスの追加需要が多くなり、安全、安定した周波数要望が高まっている状況でした。

さらに、ガラス張りの上層階フロアにて都心部の夜景を生かした演出要望もあり、窓への工事によって、眺望遮蔽は避けなければならない事情もありました。

スタジオが、オリンピック・パラリンピックの会場である国立競技場に近く、運用要望と工事期間の制限を両立出来る手段を模索している中、シールドフィルム工法を用いる事で、工期の短縮、安定した TVWS の多くのチャンネル登録をすることができ、TVWS30 波の追加をおこなえて、安定した運用を開始することが可能となりました。

今回の取組で映えある特ラ技術賞を頂けるとまでは思っておらず、大変な名誉と評価を頂きましたことに大変感謝しております。

この改善措置は、既施設に有用と思いますので、既設設備での導入の参考となれば幸いです。

今後も与干渉・被干渉に留意し安定運用を目指す所存でございます。

この度は誠にありがとうございました。



株式会社サイバーエージェント 島村 尚さん

株式会社サイバーエージェント 島村 尚



第 21 回 特ラ機構技術賞 ■一般部門 奨励賞

「Playing エール from 市民文化ホール コロナに負けるな音楽のバトンを繋いで」

帯広市民文化ホール

この度は「特ラ技術賞」奨励賞の選出、まことにありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響で催し物が次々と延期・中止となる中、舞台業務のオペレーションも減少したことから「市民文化ホールから地元アーティストを応援しよう」という思いで企画・実施した動画制作「Playing エール」がこのような形で表彰されたことは、大変嬉しい思いです。

今回の受賞は、この動画制作に係わった帯広市民文化ホールのスタッフと、制作に協力していただいた地元のアーティストのみなで力を合わせた結果だと思っております。

「人間的な試みは素晴らしいこと。」と講評でいただきましたことは、今後の心の支えとして、また糧として、表彰の荣誉に恥じぬよう、日々の舞台業務につなげ、市民から喜ばれ親しまれるホールでありたいと考えます。それと同時に、今後も地元のアーティストの協力も得て発展させ、ホールスタッフ一同、八幡賞の受賞を目標に頑張りたいと思っております。

最後に、新型コロナウイルスの影響で、先の見通しがきかない日々が続きますが、特ラ機構はじめ、会員の皆様の健康をご祈念申し上げて受賞のコメントとさせていただきます。この度はありがとうございました。

一般財団法人 帯広市文化スポーツ振興財団 帯広市民文化ホール 舞台技術係 永田 健太郎

※今回、ご都合が合わずご出席頂けませんでした。



第 20 回 特ラ機構技術賞

■学生部門 銀賞

「アイドル冥府魔道」

第 21 回 特ラ機構技術賞

■学生部門 銀賞

「宇宙スペース学園ナンバー 1」

学校法人東放学園音響専門学校

この度は 2 年連続学生部門「銀賞」を頂き、ありがとうございました。

2019 年に制作した「アイドル冥府魔道」と 2020 年に制作した「宇宙スペース学園ナンバー 1」この 2 つの作品はストーリーが繋がっており、この 2 作品が受賞できた事、大変嬉しく思っております。

両作品は学生とプロの方で構成されたチームで行い、学生は音声収録、音響効果、作曲、MA 等、音に関わるセクションを担当しました。学生にとっては初めてプロの方と共に撮影し、監督の指示で作業をするという、普段の授業では出来ない初めての経験でした。

その中でも 2020 年に制作した「宇宙スペース学園ナンバー 1」はコロナ禍という事もあり、感染症対策をしながら撮影に臨みました。

テスト時にはフェイスシールドをしながら演技をし、本番では外して演技をした為、フェイスシールド越しの音と外した際の音は「マイクを通すとどう違うのか」を勉強する良い機会となりました。

両作品において、プロの方々と撮影した学生にとって、かけがえのない体験であったと思います。この経験から音声の道や MA ミキサーの道に就職先を変えた学生もいる事を思うと、学生にとっては人生をも変える大きな出来事であったと思います。

この賞を励みに今後も学生へ様々な体験を提供できればと思います。
この度は有難うございました。



第 21 回受賞 東放学園音響専門学校
岡部 葉留香さん（左）、田中 あかりさん（右）

東放学園音響専門学校 教務教育部 舟橋 亜里紗

※第 20 回受賞者の皆様は今回、ご都合が合わずご出席頂けませんでした。

第 21 回 特ラ機構技術賞 ■学生部門 奨励賞

「御社と貴社の使い分け決めたやつ、どこの誰だよ。」

日本大学 芸術学部映画学科 小田 理佐子

この度は、「奨励賞」を頂き、誠にありがとうございました。

私はこの作品に卒業制作として取り組み、監督、カメラマンと共に協力して作り上げました。

この作品は 2020 年のコロナ禍で、学校側から感染症対策として、いくつかの厳しい制約を課せられた中で制作したものです。

例年では 30 分の作品を作る予定が 15 分と決められ、また、映画学科の後輩を助っ人として呼ぶこともできず、どのような気持ちで制作に取り組めばいいのか、悩んだ時期もありました。

感染のリスクを侵してまで映画を制作するべきなのか悩んだ末に、極力感染のリスクがない状況を生み出し、作品を作り上げようという決断を下しました。



日本大学 小田 理佐子さん

撮影場所は大学の構内を使い、撮影期間は 2 日間だけにしました。

また、役者も 2 人だけにし、コロナ禍という設定にしたため、常にお互いの距離を保って、マスクもつけている状況を作り出しました。

かといって、作品のクオリティを妥協することもなく、コミカルな面白い作品に仕上がったのではないかと考えています。

音に関しても、監督と 2 人でどのような BGM を使うのか、どこにどんな SE を入れるのか話し合いながら、作品を仕上げていくことができました。

振り返ってみると、まだまだ未熟な点は多いなと自分でも思うのですが、ひとまずこのコロナ禍において、無事に作品を作り上げられたことを誇りに思います。

今後もこの経験を糧に、クリエイターとして成長していきたいと思っています。

日本大学 芸術学部映画学科 小田 理佐子



2020 年はコロナの緊急事態宣言下ということで中止となり 2 年ぶりの開催となった InterBEE（令和 3 年 11 月 17 日(水)～ 19 日(金)、幕張メッセ）に平山が取材に行き参りましたので、WL 周りの新情報についてご報告致します。

SHURE JAPAN

新製品 ADX5D

ポータブル型のデュアルチャンネル受信機が ADX シリーズにも登場。

AD3

プラグオンタイプの送信機も登場。

この 2 つの製品はテレビロケ現場などでの活躍が期待される。

また、AD3 の登場により、リモートでチャンネル変更やミュートなど、UHF-R シリーズのプラグオンではできなかったことができるようになったので、違った使い方もできるのではないだろうか。

また、セミナーをリアルと Web で同時開催するなど、新たな試みにも挑戦していたのが印象的。

アーカイブ放送は YouTube チャンネル / ShureJapan で確認可能なので、現地に行けなかった人もチェックして頂ければと思う。



SHURE JAPAN ADX5D（手前2個が実機）



SHURE JAPAN AD3



SENNHEISER JAPAN EW-D

SENNHEISER JAPAN

来年 1 月、Evolution シリーズの後継機 EW-D が発売決定。

まずは WS 帯からの発売、その後 B 帯の販売を予定。

帯域に関しては調整中だが、600MHz 帯での発売と見込まれている。WS 帯に関しては 600kHz の等間隔で並べれば、安定して 90 波の運用可能できるシステムになる見込みで、1.9ms というレイテン



SENNHEISER JAPAN D6000 シリーズ

SONY

B 帯のベルトパックに、USB 給電が可能なモデルが登場。

今後 USB の端子を中に隠せるような仕様にできないか、など、防水面や取り回し面の工夫を考えてもいるとの事で、WS 帯や、1.2GHz 帯にも今後対応する事を期待する。

また、WirelessStudio もシステムが大きく改良。電池残量や音声信号も波形で見れるようになった。



SONY WirelessStudio

Panasonic

新しく 1.9GHz 帯 (DECT) を開発、会議室や大学の講義、Web 会議などで利用する事を主としたモデル。

現在はハンドヘルド型とピンマイク型の 2 種類の形状だけだが、今後バウンダリーマイクやグースネックタイプのモデルも開発を検討、進めているとの事。今後の進捗に期待したい。



Panasonic DECT

全体の感想として

コロナ禍 2 年目、2 年ぶりの開催となった InterBEE だが、全体的に密を避けるレイアウトで、すきまの多い InterBEE となってしまったのが印象的であった。

手指の消毒や検温などは当然のごとく入場口にあり、感染症対策の一環として、マスクをノベルティとして配布している企業も多かったのが印象的だった。

大きな規模のブースが少なかったのもあり、時間により一部ブースの中で密になるという様な印象があり、この点は来年度以降の改善に期待したい。



会場

引き続き寒くなり、ウイルスとしては活動しやすい時期になってくるとは思うが、業界全体で感染防止対策をしっかりとこない、注意しながらも積極的なイベントの開催実施に期待したい。

また、お忙しい中取材に快く協力頂いた各メーカーご担当の方々に謝辞を申し上げます。

(事務局 平山)

東京オリンピック・パラリンピック競技大会での ラジオマイクの運用結果

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

1. 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の概要

当初 2020 年に開催予定であった東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）は、コロナ禍の困難の中で、史上初の延期を経て、2021 年に開催された。

第 32 回オリンピック競技大会（2020 / 東京）は 2021 年 7 月 23 日から 8 月 8 日までの期間に 33 競技 339 種目が実施され、選手約 11,000 人が参加した。東京 2020 パラリンピック競技大会は 2021 年 8 月 24 日から 9 月 5 日までの期間に 22 競技 539 種目が実施され、選手約 4,400 人が参加した。

2. ラジオマイクの主な運用者及び用途

東京 2020 大会でのラジオマイクの主な運用者及び用途は次のとおり。

① 放送局・メディア

競技会場内での取材や選手へのインタビュー等のために、OBS（オリンピック放送機構）、ライツホルダー（放映権を持つ各国の放送局）、メディア（主に海外）により、ラジオマイクが使用された。また、IBC（国際放送センター）に設置されたライツホルダーのスタジオ内等でもラジオマイクが使用された。

② 場内音響等

開閉会式での演出、一部の競技における会場音響、スポーツプレゼンテーション、競技音声の収録のためにラジオマイクが使用された。

③ 審判員・競技運営スタッフ

審判員や競技運営にかかわる会場のスタッフによりラジオマイクが使用された。

3. 海外持込みラジオマイクの免許

海外では周波数帯域が日本の帯域とは若干異なるが、主にホワイトスペース帯のラジオマイクが使用されている。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）では、開催都市契約に基づき海外のライツホルダー等に便宜を図るため、組織委員会が規定する利用条件の遵守を条件に、周波数調整や免許申請等を実施した。

海外から持ち込まれるラジオマイクについては、技術基準適合証明を取得していない事例が多いため、総務省の協力を得て、会場内で検査を実施した。日本の免許制度に適合しないラジオマイク（日本のホワイトスペース帯域に適合しない場合や、空中線電力がデジタル 50mW・アナログ 10mW を超える場合）については、日本の技術基準に適合するよう調整を実施した。

4. 無観客開催の影響

東京 2020 大会では、多くの競技会場が無観客開催となった。これに伴い、ラジオマイクの運用では以下のような変更が生じた。

① 開閉会式

組織委員会開閉会式チームや OBS 等と綿密に打合せをして周波数使用プランを策定する中で、演出プランの見直し等に伴う変更が生じた。

② 場内音響

サーフィン競技では、波待ちの時間中の会場内盛り上げのために音楽パフォーマンス等が予定されていたが、無観客開催により中止となり、ラジオマイクも使用されなかった。

③ ライブサイト会場

会場周辺の自治体施設等に開設する予定であったライブサイト会場の多くが緊急事態宣言の発出等により中止となり、ラジオマイクも使用されなかった。

④ 観客への取材等

無観客開催による影響もあり、会場内でライセンスホルダーが使用予定であったラジオマイクの周波数使用数が、申請よりも少なかった。

5. TV ホワイトスペースチャンネルリストへの一時的な付加・拡大

新設された以下の競技会場について、混信保護検討を行い、今大会への対応としてチャンネルリストへの付加を行った。

(東京都) 武蔵野の森公園、有明体操競技場、有明アーバンスポーツパーク、有明テニスの森、
青海アーバンスポーツパーク、海の森クロスカントリーコース、海の森水上競技場、
カヌー・スラロームセンター、東京アクアティクスセンター、選手村（屋内・屋外）
(神奈川県) 江ノ島ヨットハーバー
(千葉県) 釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ
(埼玉県) 陸上自衛隊朝霞訓練場（注）、霞ヶ関カンツリー倶楽部
(静岡県) 伊豆ベロドローム、伊豆 MTB コース

また、各国ライセンスホルダーから競技会場以外のスタジオ等でもラジオマイクを使用したいとの要望があったため、混信保護検討を行い、上記と同様にチャンネルリストへの一時的な付加を行った。

これらの地点は、競技利用終了後の地点整備状況に合わせてチャンネルリストの更新時に反映され、特定ラジオマイク運用調整機構会員（以下「特ラ機構会員」という。）や放送事業者も使用できる見込みである。

（注）陸上自衛隊の敷地内のため、チャンネルリストへの登録は行わない。

6. 周波数調整

① 周波数プランニング

複数の会場が隣接するなかで多数のラジオマイクが使用されることから、綿密な周波数使用プランを策定した。

周波数のプランニングにあたっては、有識者、無線機器メーカー、ユーザーのアドバイス等を踏まえ、無線機種種の運用形態や会場における電界強度の実測値等に基づき、所要離隔距離を踏まえた周波数割当てを行った。IM3* の計算は手動で行ったが、特に本数が多いなど一部複雑な計算を要する場合のシミュレーションにはメーカーのシミュレーションソフトも使用した。

IM3 については、主としてラジオマイク（送信機同士）が近づきすぎることにより発生する2波による IM3 を考慮した。

この結果、全申請の約 65% を収容する周波数プランニングを行った。多数のラジオマイクを申請してきたライセンスホルダー等に対しては、本数を絞って承認し、それを超える数のラジオマイクの使用は承認しなかった。

なお、海外持込みのラジオマイクのアナログ・デジタル比率は、おおよそアナログ7割、デジタル3割の割合であった。

* IM3：3次相互変調

② 近接する会場における周波数調整

近接した競技会場*では、互いのラジオマイクの周波数が重複していた場合に混信を起こす可能性がある。このため、時間的・場所的に近接する可能性があるラジオマイクとその可能性がないラジオマイクに分類し、近接する可能性があるラジオマイク同士をグループにし

て帯域を分け、それぞれが干渉しない周波数プランニングを行った。

また、ある会場において許容できない IM3 が発生する周波数を避けて使える周波数を決めると、ランダムに間隔が空くかたちで周波数の位置が決まる。このことを利用し、近接会場がある場合においては、同一帯域内でインターリーブ的に周波数配置を行った。

＊有明エリア、国立競技場エリア、武蔵野の森、皇居周辺、夢の島・辰巳エリア、海の森、幕張メッセ、伊豆ベロドローム

③ 同一申請者に対する周波数割当て

申請者が複数の会場でラジオマイクを申請した場合は、可能な限り同一の周波数を割り当てた。これにより、別会場で同一の機材を使用する場合に予想される周波数設定ミスによる混信の抑止に努めた。

④ 特ラ機構会員が使用するラジオマイクとの周波数調整

会場の近隣では東京 2020 大会関係とは別の目的でラジオマイクが多数使用されていた。このため、固定会員については相互に連絡を取り周波数の確認等を行うとともに、移動会員については運用調整に係る連絡を活用して周波数の確認等を行った。

また、特定ラジオマイク運用調整機構殿のご厚意により、『特ラ機構レポート』に東京 2020 大会でのラジオマイク運用に関わる依頼文を随時掲載いただき、海外持込み機器からの混信保護に努めた。

⑤ 会場内でのラジオマイクの運用

会場内での混信を防ぐため、ラジオマイクのみならず無線機器の利用にあたっては、既に国内免許を有している機器と海外持込み機器のいずれについても、組織委員会の事前承認を必要とした。事前承認を行った無線機器にはタグを発行し、タグが貼付されていない無線機器は手荷物検査で持込みを阻止する運用を行った。

7. ラジオマイクの使用結果

東京 2020 大会では、無線機器全体で 596 団体から申請があった。そのうち、ラジオマイク・イヤーマニターについては延べ 26,752 件の申請があり、21,965 件を承認した。東京 2020 大会期間中、合計 3,358 台のラジオマイク・イヤーマニターが使用された。

ラジオマイクについては、東京 2020 大会期間中、大会関係者同士の混信 1 件を除き、混信の申告はなかった。

8. 最後に

東京 2020 大会は、1964 年大会に続き、2 度目となる東京での開催であった。コロナ禍の困難の中で、非常に規模の大きいマルチスポーツ競技大会をバブル方式で運営することは大きなチャレンジでもあったが、大会開催という使命を大きな問題なく果たしたと考えている。

東京 2020 大会におけるラジオマイクの運用にあたって、特定ラジオマイク運用調整機構事務局と東京 2020 大会に関係した音響事業者様に多大なるご支援を頂いたことに感謝申し上げますとともに、東京 2020 大会期間中、運用調整にご理解・ご協力いただいた特ラ機構会員の皆様に御礼申し上げます。

<特ラ機構事務局より>

東京 2020 大会の期間中、関係する会員の皆様のご協力に対し、当機構からも厚く御礼申し上げます。

今回得た、大規模イベントにおけるラジオマイクの多チャンネル運用の知見を今後に活かし、2025 年に開催される『大阪・関西万博』へ向けて、総務省様や関係諸団体との連携を密にして対応していきたいと考えています。

ちょっとブレイク

Inter BEE 特別編

今回のちょっとブレイクは、やはりこちらも InterBEE 特集という事で、5 ホールで行われていたロケ弁ラウンジを特集します。

2 日間の取材で実際に弁当を 5 個食べたので、かなり太ってしまいましたが、頑張ってダイエットしたいと思います（笑）

まずは初日の 1 食目、

ドルフィンさんのオススメ、**ロコモコ弁**です。ハンバーグがちょっと粗びきのお肉を使っていてジューシー感満載。タマゴのトロト口感と合わせて食べると至福の時！という感じでした。個人的にはご飯がもう少し欲しいな。という感じでしたが、逆にいえば、女性でも残さず食べやすい質量感という感じのお弁当でした。



仕出し弁当 Dolphin (ドルフィン)
ロコモコ弁 (800 円)

2 食目は、ラジュール東京さんのオススメ**牛ステーキ**。

牛ステーキがドン！と乗っている感じはインパクトありますよね。

こんなお弁当が現場で出てきたら、後半も頑



LAZURE TOKYO (ラジュール東京)
牛ステーキ弁当 (1,000 円)

張っちゃおうかな！と思えるボリューム感のあるお弁当で、割と満足できる量だったと思います。

男飯！っていう感じの牛ステーキ弁当でした。

日付も変わり、2 日目

3 食目は SOMY'S DELI の大人の**オムライス**弁当。

こちらはなんといっても彩鮮やかな感じが女性には刺さるのではないのでしょうか。奥にはサラダがぎっしり。

手前のオムライスはたんぼぼオムライスでパカッと開くとトロトロのタマゴが出てきました。お店自慢の炭火で焼いた香ばしい香りのするグリルチキンも乗っているのがアクセント。朝からサクッと食べれる一品でした。



SOMY'S DELI (ソミーズデリ)
オムライス弁当 (800 円)

続いての、4 食目ロケ弁当 Hungry さんは趣向を凝らした一品で、日替わりの**ネギ塩豚焼弁当**をお願いしました。



手作りロケ弁当 Hungry (ハングリー)
【日替わり】ネギ塩豚焼弁当 (900 円)

こちらのお弁当は右上と左下に丸い穴が空いているのですが、実はこの下に仕組みがあり、アツ

アツのお弁当が食べられる。というこの先の季節の外口ケ現場などでは、有難いお弁当でした。

メッセの中も若干冷えるので、こういう温かいお弁当は有難いなと思いました。

最後の5食目、幕天さんの牛サガリストーキ重。
こちらは先日食べたラジュール東京さんのガッ



幕天～ BAKUTEN ～（バクテン）
牛サガリストーキ重（1,000 円）

ツリ系というよりは、見た目の鮮やかさ通り女性でも食べやすいガッツリ飯です。シャリピアンソースをかけて食べるサガリの下にはサラダも敷いてあり、全体的にさっぱり食べれる逸品でした。

本来は和食メインのお店だそうなのですが、気になってしまい、これを買ってしまいました。

以上5店舗の商品を食べ比べました。

どこが美味しかったとか、ランキングするのは別の機関がやるとして、ロケ弁困ったなあ……とか、なんか気分変えて弁当でも食べたくないか？という時には、店の選択肢の一つとしていかがでしょうか。

こちらもお忙しい中取材協力頂いた各販売店の皆様に謝辞を申し上げます。

（事務局 平山）

令和4年「特ラ機構 技術賞」募集中

締め切り：令和4年3月31日

選定の対象と種類

令和3年1月1日から令和4年3月31日までの、1年3ヶ月間（15ヶ月）における作品で下記に該当すると思われるものをご推薦願います。

この賞は会員すべてに応募の権利があり、特定ラジオマイクの使用本数とは関係ありません。地方色豊かな創作劇などの公演やイベントの記録、放送番組など、身近な作品の応募をお待ちしております。

- 1 一般部門 「舞台、イベント」「TV、映画作品、配信」「その他」
- 2 学生部門 「すべてのジャンル」

詳しくは、下記 URL をご確認ください。

<https://www.radiomic.org/Dwnld/info/2022gijutsu-sho.pdf>

事務局員年頭挨拶

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

昨年は続くコロナ禍にあっても運用連絡は確実に増えていきました。まだまだ続く困難の中ではありますが、皆様のご活躍が頼もしく、誇らしくもありました。また、機構への温かいご意見やご指導を有難うございました。

機構事務局は1月5日(水)より通常業務をおこないます。本年も皆様の一助になるよう一層努力をしてまいりますので、昨年に引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。（木村）

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

一昨年から引き続き、感染症が全世界的に大きな影響を及ぼす中、当機構は昨年も滞りなく業務を継続することができました。今年こそは、イベントや舞台、コンサートなどが数多く開催され、そこで使われる特定ラジオマイクが暗い世相を明るく照らす“灯”となれるよう、運用調整・その他支援業務に努めてまいりたいと存じます。（石川）

謹んで新年のお慶びを申し上げます

個人的な事柄ですが、今年3月末には中学校卒業から50年目を迎えます、早いもので半世紀（反省期）幼馴染みの悪ガキ連中とは、マスク会食でも良いから是非会えたらと声を掛け合っています。

今年もご支援、ご鞭撻の程 よろしくよろしくお願い申し上げます。（甲田）

新年明けましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になり、ありがとうございました。

2022年が皆様にとって穏やかで明るい1年になりますように。（松崎）

新年明けましておめでとうございます。

昨年は2020年に続き厳しい年となりました。

今年が皆さまにとってすばらしい1年になりますよう心よりお祈りいたします。（渡辺 聖尚）

あけましておめでとうございます。

引き続き、Youtubeでの解説など、新しい事に今年もチャレンジしていきますので、ぜひ、皆様のアドバイスを頂ければと思います。今年もよろしくお願いします。（平山）

事務局員年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます。

旧年中はひとかたならぬご厚情をたまわり誠にありがとうございました。

令和4年（壬寅）の年頭にあたり皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます（中島）

あけましておめでとうございます。

テレワークにて運用連絡処理を行っています。皆様への連絡や問い合わせがメール中心になると思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。（吉田）

原稿をお寄せください！

「特ラ機構レポート」はみなさまの会報です。ご寄稿をお待ちしております。

ラジオマイクの技術や運用 研究、開発とまで行かなくても「こんなことをやってみました」「こんな使い方もあります」などなど。みんなに知らせれば役に立つだろうと思われること。なんでもけっこうです。

映像、音響全般の技術や運用 ラジオマイクに限らずお寄せください。

こぼれ話 南から北から周辺の話題を拾ってください。観光宣伝でも舞台やイベントのこぼれ話でも、美味しいお店の紹介でも。ラジオマイクは全国を巡っています。

特ラ機構への意見 苦言、提言、気付かれたこと、なんでも結構です。組織・活動を充実させるため、前向きな建設的なご意見を願います。

寄稿は会員に限らず「特ラ機構レポート」をお読みの方ならどなたからでもお受けいたします。

レポートに掲載させていただいたものには、些少ですが、原稿料を差し上げます。

メールでの寄稿、大歓迎です。

Email : office@radiomic.org

事務局便り



■令和 3 年度機構関係費用のお振込みをお願いします。

令和 3 年度決算期日が間近になりました。毎年のお願いですが、機構関係費用が未納の会員社はお振込みをお願いします。前年度よりの未納がある場合は併せてお振込みください。



特ラ機構 SNS でも情報発信中！

☆ YouTube

チャンネルを開設しました。

動画を通して、技術的な情報、広報活動を更に解りやすくお伝えしていきます。

動画へのアクセスは

特ラ機構 YouTube

検索

☆ Twitter

リアルタイムなお知らせや連休などの営業情報をアップしていきます。

Twitter へのアクセスは

特ラ機構 Twitter

検索

どちらもフォロー頂ければ幸いです。

コメントなどご質問やご要望など頂ければ、お答えして参りますのでご活用下さい。

編集後記

皆さん大晦日はどう過ごされていますか？家でまったり？それともカウントダウンをしにどこかへ繰り出しますか？私は後者で、スキー場やお台場、八景島など色々な場所で新年を迎えたことがあるのですが、一番強烈に印象に残っているのはニューヨーク Times Square でのカウントダウンです。華やかな印象ですが、実際に行った感想は『辛い！』の一言。AM10：00 入場規制が始まります。そしてこの入場規制、一度入ったら二度と出ることはできません。正確には人が多すぎて動けません。どの店も暖をとる人で満員、



Happy New Year !!!



警察官も笑顔



ブルドーザーが出動

トイレに行くのも苦労（オムツをする人も）。セキュリティも厳しく初めてボディチェックなるものを体験しました。こうした苦行の末に迎えたカウントダウンは盛り上がりましたが、終わった後のゴミ（紙吹雪）の山にビックリ。ブルドーザーが数台出てガガガ〜とかき集めます。体力と忍耐力に自信のある方は一度挑戦してみても！？

(松崎)